

支援者より与えられたネガティブな体験 ③

特にセクシュアルマイノリティに関連する問題

- ▶ 誤解1：性暴力被害によって性指向が変わる（逸脱する）という思い込み
- ▶ 精神科医より：
 - ▶ 一子ども時代の性暴力被害相談のとき、現在女性パートナーと暮らしていると説明すると、性指向に関する偏見から、「性被害を受けたからレズビアンに走った」と言われることが多く、極めて苦痛。
 - ▶ 精神科医や心理カウンセラーの著書にも、「性指向が女性に向くこと」と、「トラウマに起因する男性との性行為の回避」を混同して記述しているものは数多く、こうした間違った固定観念によって、セクシュアルマイノリティの被害当事者が自分の性指向を肯定できなくなるのは大きな問題。
- ▶ a. あらゆる性指向の女性、そして男性が、子ども時代に性被害を受けている
- ▶ b. 異性愛の女性が性被害にあうと、その後性行為を回避したり、男性を好きになるのが怖くなって悩むことはあっても、性被害を境に女性を恋愛対象とするようになるわけではないし、男性を好きにならなくなるわけでもない。=性指向はそう簡単に変わらない。

支援者より与えられたネガティブな体験 ④

特にセクシュアルマイノリティに関連する問題

- ▶ 誤解2：「女らしくない」「男っぽいから」などという外見で被害の有無を判断される
- ▶ 【警察にて】
- ▶ 身体的には女性だが性自認は女性ではない、もしくは男性であるFTMトランスジェンダーの若者。
- ▶ 非常に行動的で、通常男性にしか許されない行動を好む。野外で強姦被害を受け、警察に訴えたが、「男みたいな女を強姦するやつなんかいるか」ととりあってもらえず、被害届けを出せぬまま帰宅。以来、言語表現が困難になり自分の思うことを言えなくなった。
- ▶ FTMトランスジェンダーの若者。大学の男子同級生と仲良くなり、共に行動するうち、友人が急に信頼関係を裏切り強姦被害を受ける。見かけが男っぽいいため警察に言っても相手にされず門前払い。誰にも被害を訴えられない。
- ▶ ゲイ男性、元カレからストーカー被害に合い警察へ行くが、オカマ同士の関係なんか扱えないと門前払い。その後うつ状態になり現在休職中。

支援者より与えられたネガティブな体験 ⑤

特にセクシュアルマイノリティに関連する問題

- ▶ 【職場の上司より】
- ▶ ーF T Mトランスジェンダーの教員。自分が性同一性障害であると伝えた後、男性の同僚から身体を触られたりするセクハラを受け、教務主任に相談。すると、ただでさえ厄介な存在なのにどこまで職場の和を乱すのかと叱られ退職。
- ▶ 【DV支援者より】
- ▶ パートナーから暴力を受けたF T Mトランスジェンダー。シェルター入所を希望したが、見かけが男性的であるため、被害者であることを信じてもらえず門前払いに。その後暴力を受けて怪我で入院。
- ▶ F T Mは「過度に女っぽい服装で男性を挑発した」という「誘う女」の対極にある固定観念であり、女らしくなければ男性から性被害に合わない、男っぽいから被害者のはずはなく加害者であろう、との憶測により、支援を受けられず放置されている。
- ▶ 男性同性愛者からは、男性支援者から非常に侮蔑的で心無い扱いを受けたという訴えが多く寄せられている。
- ▶ こうした二次被害があることから、性被害の後うつ状態になっても、同性愛者であるということを開示できぬまま、カウンセリングをうけており、改善に繋がらないケースが多い。

よく配慮されたと感じたポジティブな体験

性暴力禁止法を作ろうMLからの情報提供

- ▶ **【弁護士】**
 - ▶ 性犯罪事件に強い弁護士と裁判を起こすことになり、刑事事件で負けたことがないので心強い（専門性の高さの力）
- ▶ **【カウンセラー】**
 - ▶ 自分に合うカウンセラーに出会うことができた。（よいカウンセラーとは）
- ▶ **【支援者】**
 - ▶ 性暴力被害をゼロにしようと動いている人がいてくれれば、それだけで生きていこうと思える（支援者の思いが伝わる）
 - ▶ 子ども時代の家族による被害、施設の大人とその後も文通を続けることによって、親でも兄弟でもないまったくの他人に見守られることで生き延びることができた。（個人的なつながりのもつ力）
- ▶ **【トランスジェンダー関連】**
 - ▶ 民間シェルターで、自分はトランスジェンダーだと言ったら、私たちのところは初めてですので、いろいろ教えてください、とって、基本的なことを質問してくれた。
 - ▶ DV被害を訴えたら、工夫してシェルターで受け入れてもらえた。
 - ▶ 心理カウンセリングで、セクシュアル・マイノリティの方の相談も受け付けています、と声をかけてくれたことで安心感が増した。

そのほか支援者に伝えたいこと

性暴力禁止法を作ろうMLからの情報提供

- ▶ 二次被害をなくしてほしい。被害をゼロにすることは不可能だが、二次被害はゼロにすることができる
- ▶ 支援を止めるならはっきり分かるようにしてほしい。支援先をネットなどでようやく捜し当てても休止中だったり、連絡しても返事が返ってこないとそれだけで落ち込む。支援を止めているのにウェブサイトや連絡先が残っているところはすべて削除してほしい。
- ▶ いかなる暴力も責任は加害者にあるということを常に頭において支援者は被害者に寄り添うことが大切である。
- ▶ いくら知識や勉強を詰め込んだとしてもジェンダーの視点や「暴力を選択する側に責任がある」ということをはっきり言えなければそこで更に二次被害を与えてしまうことになる。
- ▶ そっと寄り添い見守ってくれる誰かがいる、ということは、子どもにとっても、大人にとっても人を信頼できることに繋がる。
- ▶ トランスジェンダーなど、マイノリティの場合、存在すべきでないものとして扱われるのが最も傷つく。